

気候変動問題に対する経済学的視点  
メモ

市場の失敗（外部性）に対する三つのアプローチ

- ①規制（エンジニアリング的アプローチ）
  - ②内部取引
  - ③ピグー税(pecuniary incentives)
- それぞれの手法の長所と限界を理解することの重要性

配慮すべき事項

- 時間軸
- 技術や社会に対する将来の不確実性
- 人々のインセンティブ

規制的手法の特徴

- 直接的な形で効果が期待できる一自動車の燃費規制、電力のエネルギーミックスなど
- すべての国民を動かす規制はない
- 市場的メカニズムを補完する制度設計（規制を含む）
  - インフラ整備-水素ステーション
  - 制度改革-電力システム改革

不確実性と技術革新

- 計画経済 A(原子力)→計画経済 B(太陽光)?
- 将来の技術の不確実性の下でどこに投資するのか
- 正しい価格設定の下での柔軟な対応とインセンティブ
- 技術革新へのインセンティブ、柔軟な生産・消費の調整

イノベーションへの期待

- 大きな課題にはイノベーションが対応してきた：食料供給の事例
- なぜ産業革命以降の生産は大幅に拡大したのか
  - イノベーションの市場化、大衆を巻き込む形のイノベーション
  - 改良型のイノベーションと破壊型のイノベーション
  - イノベーションを生み出す市場構造
- 気候変動問題への対応
  - 気候変動問題に対応するイノベーションに資源を誘導する施策